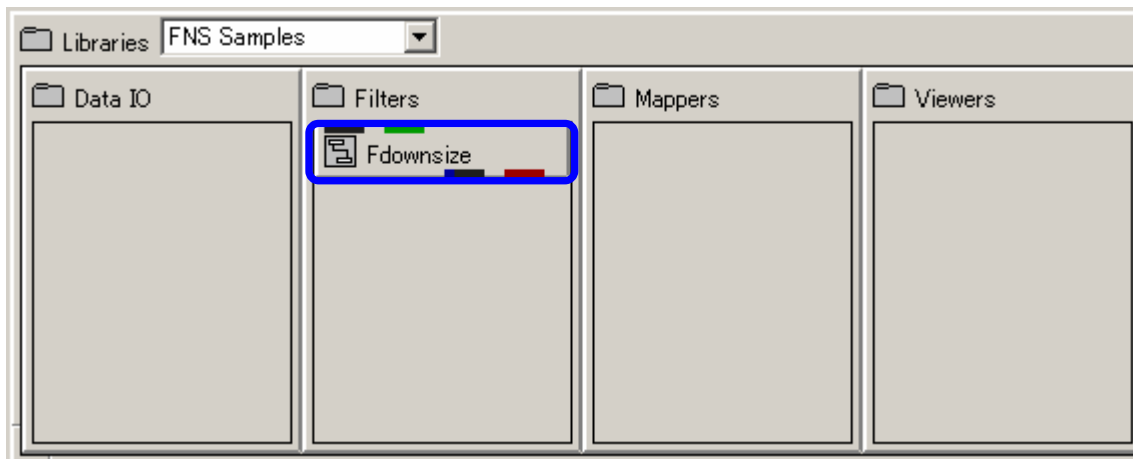


Fdownsize

データのサイズを小さく（間引き）、もしくは大きくします。
その時、I、J、Kの係数を指定後に一括して結果を出力します。

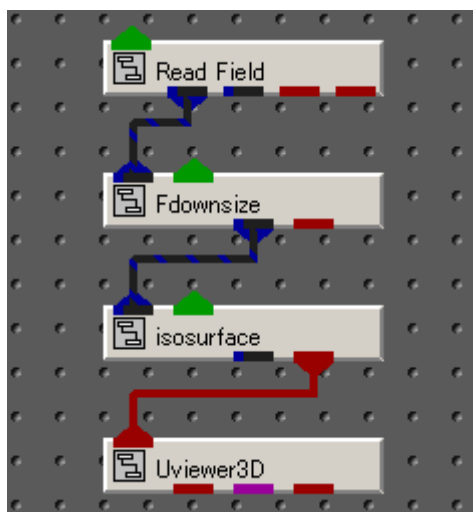
1. モジュールのインスタンス

” Libraries” から「FNS_Samples」を選択し、「Filters」にある Fdownsize をインスタンスします。



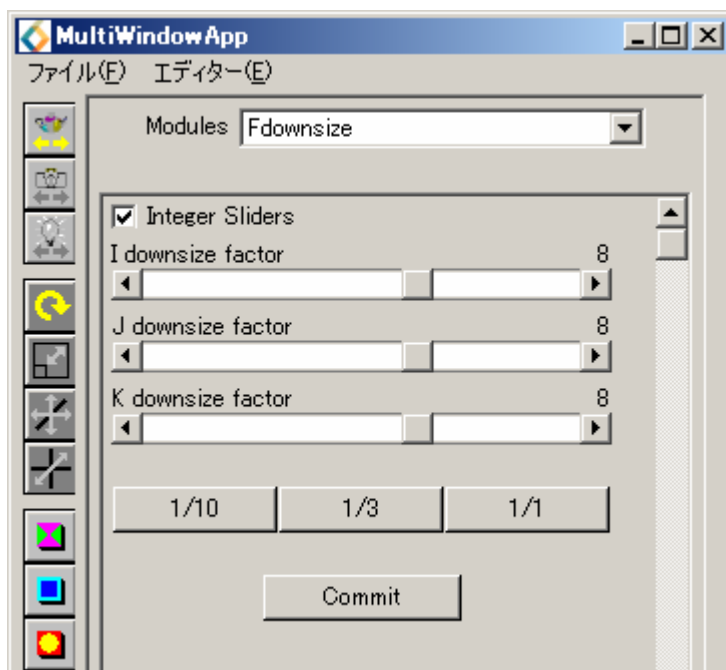
2. ネットワークの接続例

下図のようなネットワークを作成するとダウンサイズした可視化結果が表示されます。



3. コントロールパネルの表示

コントロールパネルのモジュールから「Fdownsize」を選択すると以下の画面が表示されます。



4. ダウンロード係数の型指定

コントロールパネルの「Integer Sliders」がONの時、ダウンサイズ係数のスライダーの値が整数型になります。初期値では「Integer Sliders」はONになっています。

5. ダウンサイズ係数の設定

コントロールパネルの「I downsize factor」、「J downsize factor」、「K downsize factor」はそれぞれI、J、K方向のダウンサイズ係数を設定します。標準のdownsizeモジュールと異なり、値を変更してもその時点では出力結果に反映されません。

6. ダウンサイズ係数の定量設定

コントロールパネルの「1/10」、「1/3」、「1/1」ボタンはI、J、K方向のダウンサイズ係数をすべて“10”（「1/10」ボタン），“3”（「1/3」ボタン），“1”（「1/1」ボタン）に設定して、ダウンサイズしたデータを出力します。

7. 設定の反映

コントロールパネルの「Commit」ボタンを押すと、設定した値でダウンサイズしたデータを出力します。